

安心と効率を両立する ～介護現場の新たな挑戦～

社会医療法人 養生園 介護老人保健施設
リハビリセンターグリーンTAOKA
施設長 中川 清美

施設紹介





TAOKAメディカル・ウェルフェアシステム

医療法人

きたじま倚山会

きたじま田岡病院
TAOKA 訪問リハビリセンター北島
TAOKA 訪問看護ステーション北島
TAOKA 通所リハビリセンター北島
TAOKA デイフィットネスセンター北島
TAOKA ケアプランセンター北島
TAOKA ヘルパーステーション北島

医療法人 倚山会

田岡病院
TAOKA 訪問看護ステーション万代
TAOKA 訪問看護ステーション山手
TAOKA ケアプランセンター山手
TAOKA ヘルパーステーション山手
TAOKA 訪問リハビリセンター万代
TAOKA 通所リハビリセンター万代

社会医療法人 養生園

TAOKAこころの医療センター
リハビリセンターグリーンTAOKA
TAOKA 訪問看護ステーション 蕾
TAOKA グループホーム 樹庵
TAOKA こころのデイケア わおん
TAOKA 認知症デイケア ソナタ
TAOKA 多機能型事業所 清風
TAOKA グループホーム
清風・清祥・きよら

労働者健康安全機構 相談機構

メンタルサポート徳島

れもん	特別養護老人ホーム
れもん徳島駅前	ライム
れもんホーム	れもんワークス
地域相談支援センターれもん	スタジオれもん
れもん吉野	地域活動支援センター
ケアセンターれもん	れもん
れもん生活支援センター	介護老人福祉施設令陽

社会福祉法人 カリヨン

NPO法人 とくしま発達 支援センター

れもんキッズ藍住
れもんキッズ石井

グリーンTAOKA の概要

開設日：1991年9月3日（リハビリセンターグリーン丈六）

移転日：2024年7月1日（リハビリセンターグリーンTAOKA）

施設名称：社会医療法人 養生園
介護老人保健施設
リハビリセンターグリーンTAOKA

事業内容：介護老人保健施設：95床
（介護予防）短期入所療養介護（ショートステイ）
（介護予防）通所リハビリテーション（40名）
（介護予防）訪問リハビリテーション



新築移転決定後

◆2022年12月全職員公表

① 2023年1月全職員にアンケート実施

② アンケート結果を基に施設長面談

◆上記①②を半年に1回開催

【アンケート内容】

- 移転を聞いた感想
- 移転後も継続就業したいか・その理由
- どうすれば、全職員が移転後も働けるようになると思うか
- 自由記述

Warm Care & At Home In 川内

～ みんなで行こう、新天地 ～

2023年1月0日
リハビリセンターグリーンズ六
施設長

就業意向アンケート

いつも施設運営にご協力いただきありがとうございます。
先日公表があったように、2024年春頃を目途に当施設の川内町新築移転が決定しました。
これまで頑張ってくれた職員の皆さん全員と新しい施設でも一緒に働きたいと思っています。
職員の皆さんが新施設でも働けるように、施設としてどのような事にやりこんでいけばよいか
皆さんの思いを知り、可能な限り反映させたいので、アンケートにご協力をお願いします。

記入者名： _____

1) 川内町に新築移転すると聞いてどのように感じましたか
例：うれしい、よかった、遠いので困った、特に何も感じない…など

2) 川内町に移転しても、引き続き働いてもらえますか
はい ・ いいえ ・ 分からない

3) 2) で選んだ回答の理由は何ですか
例：新施設でもみんなと働きたいから、通勤に時間がかかるから、家庭の事情で近所ではか
働けない、家族と相談しないと分からない、まだ先のことから…など

4) どうすれば、あなた自身や同僚が新施設でも働けるようになると思いますか
例：グリーンズ六から送迎車を出す、フレックスタイム制を導入する、介護ロボットや
ICTを活用し働きやすい環境を整備する、最新設備を完備し自慢の老健にする、
福利厚生の見直し、休養室にWi-Fi完備…など

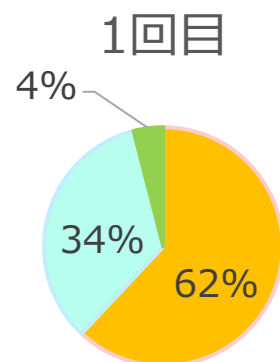
ご協力ありがとうございました。この用紙は面談日に持参してください。



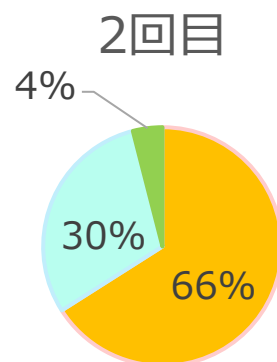
職員アンケート結果

対象者：EPA介護福祉士候補者を除く 79人

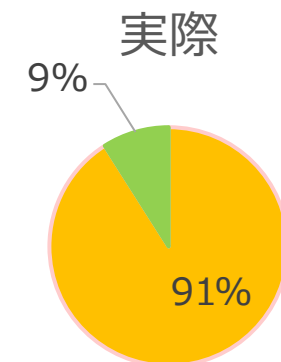
移転後の就労について		1回目		2回目		実際	
○	働く	49	62%	52	66%	72	91%
▲	分からない	27	34%	24	30%		
×	退職する	3	4%	3	4%		
▲と×の合計		30	38%	27	34%	7	9%



■ 働く ■ 分からない ■ 退職する



■ 働く ■ 分からない ■ 退職する



■ 働く ■ 退職する

職員アンケートでの意見

【質問】どうすれば、あなた自身や同僚が新施設でも働けるようになりますか？

- 最新設備を完備し、自慢の施設にする
- 介護ロボットを積極的に取り入れ、職員の負担軽減を図る
- 移乗用リフト（天井走行型）の導入
- ICTを活用した利用者情報の共有
- 休憩室にWi-Fi完備
- ベッド、床頭台、車椅子等備品を新しくしてほしい
- リハビリ機器の充実
- 送迎車を出す
- フレックスタイムのような渋滞を避けられる勤務時間の創設
- 特別休暇を増やす
- 通勤手当の見直し
- 給与・手当等の見直しなど



令和7年度 介護職員の働きやすい職場環境づくり 内閣総理大臣表彰及び厚生労働大臣表彰式

厚生労働大臣表彰 優良賞受賞



【 総理官邸にて 】

▲ノーリフトケアで職員の身体的負担を軽減している

	①生産性向上の取組 テクノロジー導入による業務効率化		②職員の待遇改善に係る取組 施設移転に伴う通勤支援の強化		③人材育成に係る取組 職員からの意見・提案の活性化	
主な課題	情報伝達・記録入力などが非効率で、職員の負担が重くなっていた。新築移転をきっかけに、テクノロジー導入を進めていく必要があった。		施設の新築移転に伴い、通勤事情が悪化する職員が多く、就業継続への不安が高まっていた。		以前から面談制度はあったが、実際には相談・提案のしづらさがあり、個人の意見表明やキャリア形成の支援が不十分であった。	
取組開始時期	平成28年12月～		令和4年12月～		平成30年8月～	
取組の内容	✓ インカム、ケア記録支援ソフト、シートセンサー型見守り機器、ナースコール機能付き見守りカメラシステム・ノーリフティングケアを導入し、業務効率化・利用者の安全性向上・職員の身体的負担軽減等を実現 ✓ 車椅子洗浄機を導入し、介護助手に車椅子の洗浄業務を担ってもらい、職員の負担軽減と施設の衛生を改善 ✓ テクノロジーの施設見学を積極的に受入		✓ 時差出勤制度を導入し、各職種で勤務時間のパターンを増やした。 ✓ 通勤手段の選択肢を広げるため、公共交通機関の利用を希望する職員については、運行状況に合わせた勤務時間に変更 ✓ 一部職員に対し、3か月間通勤送迎を実施 ✓ 職員からの要望に応え、通勤手当を見直し、単価を引き上げた。		✓ 全職員が閲覧できるPC内の共有フォルダに、誰でも記入できる「何でも質問シート」と「提案制度」を設けた。 ✓ 提案制度は、提案があれば運営委員会で協議し回答するというルールにした。 ✓ R6は職員から24件の提案が寄せられ、うち15件が採用につながった。 ✓ 職員の提案から、「介護福祉士実務者養成施設」を設置し、外国人を含む資格取得支援を開始	
取組前後の成果指標	ケア記録にかかる時間(利用者1人分)	20分/日(R2) →5分/日(R6)	通勤手当(1人当たり)	7,572円(R4) →8,791円(R6)	職員からの提案数	5件(H30) →24件(R6)
	居室巡視にかかる時間(1フロア)	30分(R2) →5分(R6)	施設移転後の就業継続を不可・不明とした職員の割合	38%(R4) →8.9%(R6)	介護福祉士有資格者数	19人(H30) →28人(R6)
	施設見学受入件数	2件(R2)→15件(R6)				
負担軽減・満足度指標	1人あたり有給休暇取得日数 ※1 9.5日(R1) → 13.3日(R5) 離職率 ※2 17.4%(H30) → 8.6%(R6)					

※1 全職員の合計有給取得日数/全職員数(非正規職員を含む) ※2 離職した介護職員数/当該年度に在籍していた介護職員数(非正規職員を含む)

新築移転に向けて

会議：月1回～週1回開催

理事長方針：最新の介護テクノロジーの導入・科学的介護の実践

建築会議

【経営層】

- ・各法人理事長
- ・法人事務局長
- ・各法人事務長
- ・施設長
- ・設計士
- ・ゼネコン

コスト管理・設計・最終決定

プロジェクト会議

【運営層】

- ・施設長
- ・各部署代表
介護、看護、栄養、
リハビリ、相談員、
事務員

設計・機器選定

各部署ミーティング 生産性向上委員会

【現場】

- ・管理職
- ・リーダー
- ・部署員
- ・生産性向上委員会

課題分析・機器選定

介護テクノロジー選定に向けて

- 新築移転に際してのキーワード

理事長方針「最先端の介護テクノロジーの導入」「科学的介護の実践」

- 「生産性向上委員会」の設置

【目的】介護テクノロジーによる

業務改善、生産性向上

【課題】①利用者からのコール対応による

業務効率の低下

②利用者像の変化による職員の負担増大

③車椅子の衛生管理が不十分



課題①「利用者からのコール対応による業務効率の低下」

【業務課題の具体例】

- 利用者対応中に他利用者からのコール確認が困難
- 同時コール時の対応遅れ・転倒事故
- 職員同士の重複対応による無駄足



見守りカメラ



見守りカメラシステムの選定

- カメラのデザイン、設置場所
- 映像（カラー、モノクロ、シルエット）
- 検知
（方法、範囲、項目、設定方法）
- 通知方法
（通知音、種類、音声案内）
- 映像データ
（確認方法、記録時間、保存量）
- ナースコール機能の有無
- 安全性
- サポート体制
- データ活用
- 他システムとの連携
- 導入費用
- 保証
- ランニングコスト
- その他のできること
- 導入施設の生の声

システムの機能

➡ AIによる動作検知

- ・ベッド起点（寝返り・立ち上がりなど）
- ・居室やトイレへの入退室
- ・居室エリア内（うずくまり、転倒など）

➡ 検知項目ごとに個別設定可能



居室全体を検知



▼検知項目 動作検知を必要とする時間帯で2パターン(昼/夜モード)を設定可能



システムの機能と運用

- AIが検知 ➡『起き上がりましたよ』『歩きますよ』など音声で知らせてくれる
- ライブ映像を確認しながら会話できる
- ナースコールとして使用できる
- モバイル間通話ができる
- インカム機能搭載予定
- 骨伝導イヤホンマイクでハンズフリー
- 耳を塞がないので違和感がなく通常会話に支障なし
- 骨伝導なのでよく聞こえる
- スマホとBluetoothで繋がっているので配線がなく邪魔にならない



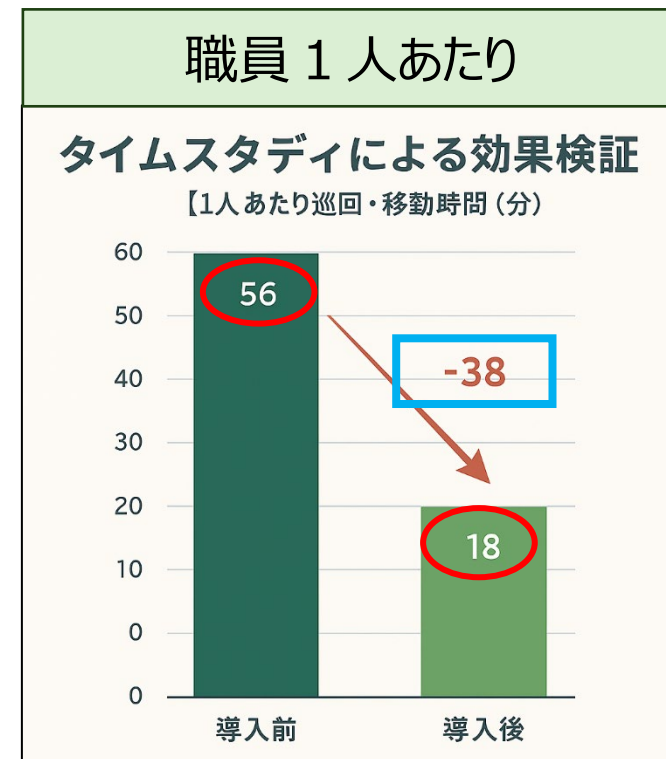
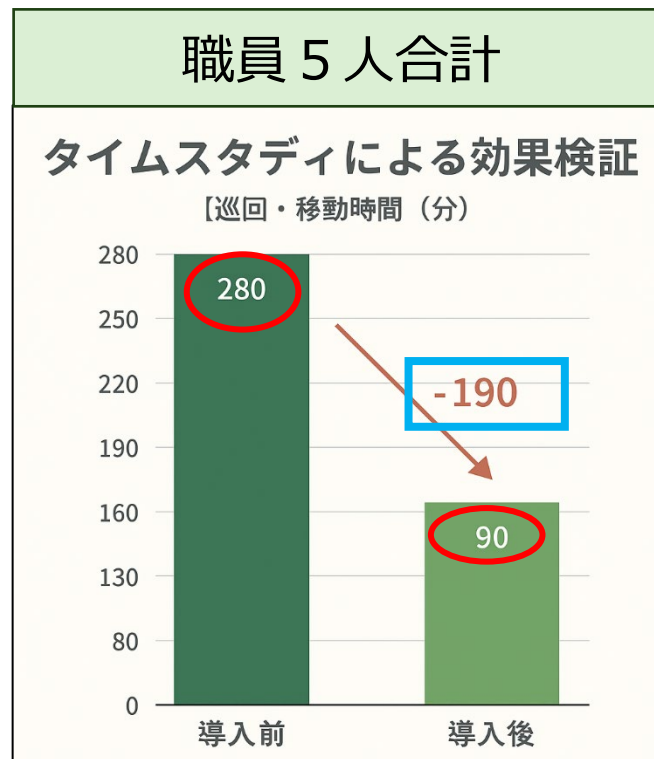
タイムスタディによる効果検証

[illegible]

- ➡ 移転前後の業務時間を比較
 - 業務時間 = 巡回・移動に要した時間
- ➡ 対象職員：介護職員 5 名
- ➡ 対象勤務：早出・遅出・夜勤
- ➡ 検証期間：2 ヶ月

【 検証結果 】

1 勤務あたりの 巡回・移動時間 (分)



その他の導入効果

- 施設内どこからでも確認できる ➡ 訪室回数減少
- コール対応の状況が共有できる ➡ 無駄足削減
- 職員の身体的・心理的負担軽減
- コールの優先順位・緊急性の判断が迅速に
- 常時録画可能 ➡ 録画映像確認による事故発生時の原因究明
及び事故防止対応策の具体化
- 録画映像による事故報告・家族説明の信頼性向上
- 隔離対応時の非接触コミュニケーション



「見守りカメラシステム」と「介護記録システム」の連携

【従来の記録方法】

検知等

メモ

入力

(ワイズマン すぐろくタブレット)

検知

コール

異常を
キャッチ!

自動データ連携で
転記不要
業務効率up

(眠りスキャン)

課題②「利用者像の変化による職員の負担増大」

◆ ノーリフトケア宣言施設としての運営を目指す

【目的】 身体的・心理的負担の軽減

【期待できる効果】

- 腰痛予防
- 女性・高齢者等が安心して移乗動作を行える
- 永年勤続に繋がる
- 利用者の安全性が高くなる
 - ・移乗時の転倒、打撲等の事故が予防できる
 - ・皮膚トラブルが軽減（擦過症等の予防）
 - ・無理な体制での移乗がなくなる

天井走行リフト導入決定

- 
- 導入機器の選定
 - 導入施設見学
 - 研修参加
 - リフトインストラクター養成

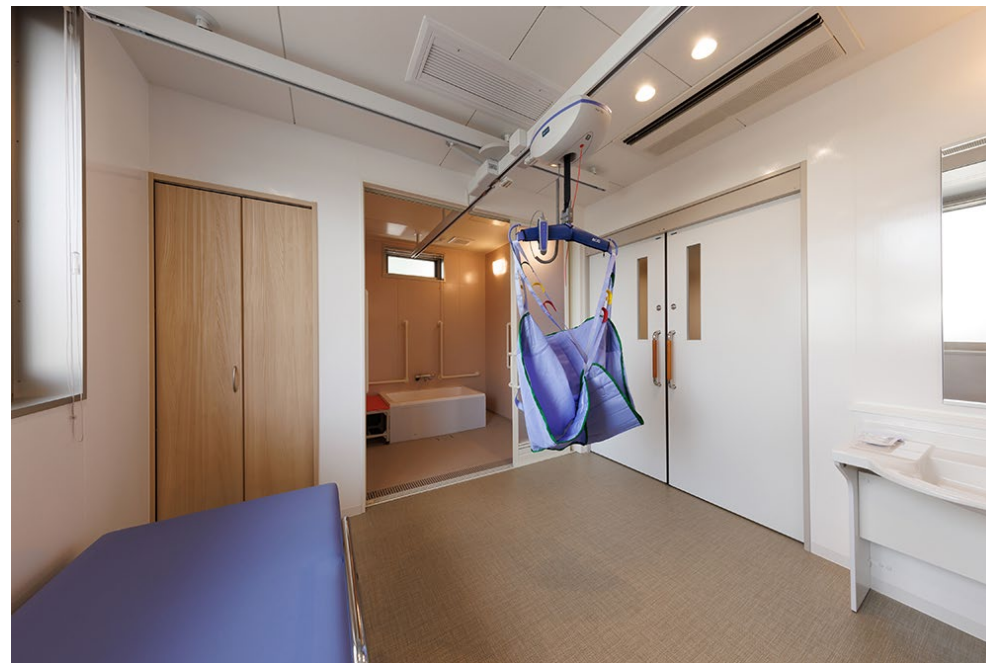
天井走行リフトを**全ての居室**・**リハビリ室**に設置



天井走行リフト使用の様子



天井走行リフトを浴室に設置



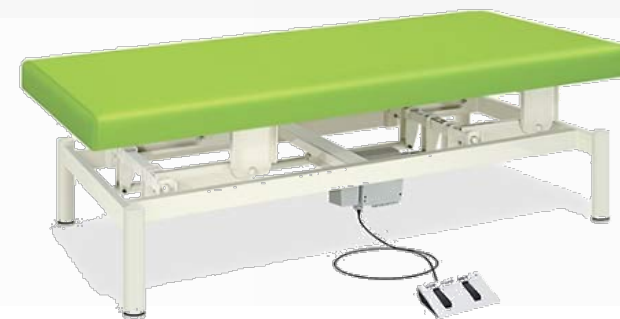
床走行リフト



スタンディングリフト



電動昇降ベッド



スライディングボード



スライディングシート



グローブ



ノーリフティングケア キャリアパス任用要件（案） ～2025年度～

名称	組織における役割	求められる能力	手当て条件	手当額	該当者
リフトインストラクター 上級①	介護リフトを利用した環境改善のリーダーとして、職員等を指導し、スタッフの積極的な確保・定着のための活動の中心的な役割を担う。	【知識】 介護リフトの導入・運用に関する高度な専門的知識 【技術】 介護リフトの高度な操作技能 【資格等】 ・リフトインストラクター上級 ・リフトリーダー養成研修	・リフトインストラクター上級取得+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	5,000	
リフトインストラクター 上級②	①リフト移乗の定着のため、スタッフへの研修を行う ②スタッフの健康問題の軽減や確保・定着のため、環境改善による要介護予防を推進する。	【知識】 介護リフトの導入・運用に関する高度な専門的知識 【技術】 介護リフトの高度な操作技能 【資格等】 ・リフトインストラクター上級 ・リフトリーダー養成研修	・リフトインストラクター中級取得+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	4,500	
リフトインストラクター 中級①	新上級、中級、初級の認定についてリフトインストラクター試験（筆記・実技）の結果に基づいて認定する 上級：筆記・実技の両方で高評価 中級：筆記・実技の片方で高評価 初級：筆記・実技の両方で評価基準を満たす	【知識】 介護リフトの導入・運用に関する高度な専門的知識 【技術】 介護リフトの高度な操作技能 【資格等】 ・リフトインストラクター中級 ・リフトリーダー養成研修	・リフトインストラクター初級取得+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	4,000	
リフトインストラクター 中級②			・リフトインストラクター中級取得。主となり施設内での普及活動を行う。	3,500	前田
リフトインストラクター 初級①		【知識】 介護リフトの導入・運用に関する高度な専門的知識 【技術】 介護リフトの高度な操作技能 【資格等】 ・リフトインストラクター初級 ・リフトリーダー養成研修	・リフトインストラクター初級取得+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	3,000	
リフトインストラクター 初級②			・リフトインストラクター初級取得。主となり施設内での普及活動を行う。	2,500	日野
リフトリーダー①	介護者の身体的負担軽減や要介護予防及び要介護者の尊厳の確保と自立支援を図るためのリフト等、福祉用具の導入を推進するために必要な知識及び技術を獲得し、リフト等の使用に関し指導的役割を担う。	【知識】 リフトリーダーとしての役割と心構え/助成金制度/要介護予防対策チェックリスト/介護者の要介護度状況とその対応/要介護予防に関する法令、指示/要介護予防対策/労働安全管理のすすめ方/福祉用具の効果的な活用方法/福祉用具の種類と特徴/リフトの種類と特徴/介護作業の安全管理 【技術】 リフト等の使い方/リフト等の指導法 【資格等】 ・リフトリーダー養成研修	・リフトリーダー養成研修を受講。取得後リーダーとして1年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	2,000	塚本
リフトリーダー②	介護作業の安全管理を行う。 ②リフトに関する知識や技術を生かし、リフトの適切な使用とスタッフへの指導を行う。	【知識】 リフト等の使い方/リフト等の指導法 【資格等】 ・リフトリーダー養成研修	・リフトリーダー養成研修を受講。主となり施設内での普及活動を行う。	1,000	
リフト実技	介護者の身体的負担軽減や要介護予防及び要介護者の尊厳の確保と自立支援を図るためのリフト使用、施設内研修にて、必要に応じて及び技術を指導し、要介護者にリフトの使用を行う。	【知識】 リフトリーダーとしての役割と心構え/要介護予防対策/福祉用具の種類と特徴/介護作業の安全管理	・施設内研修を受講及びリフト試験合格。施設内のルールに従い、要介護者に使用。	500	リハビリ 介護 看護

名称	組織における役割	求められる能力	手当て条件	手当額	該当者
上級ノーリフトケア コーディネーター①	ノーリフティングケアの導入、実践のために必要な課題を把握し、施設や地域でのノーリフティングケアの普及・定着に向けた活動の中心的な役割を担う。	【知識】 ノーリフティングケアにおけるリスクマネジメント方法/ノーリフトケア導入・施設計画立案方法/コーディネーターに必要な課題解決手法やプレゼンテーション方法 【資格等】 ●ノーリフトケア コーディネーター養成講座アドバンス	・ノーリフトケア コーディネーター養成講座アドバンス修了+修了後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフトケア コーディネーター養成講座アドバンス修了+修了後リーダーとして1年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	5,000	
上級ノーリフトケア コーディネーター②		【知識】 ノーリフティングケアの導入、実践における課題を把握し、改善に向けた取り組みを推進する。 【技術】 各ケアの促進手法 【資格等】 ●ノーリフトケア コーディネーター養成講座アドバンス ★ノーリフティングマネジメント講習 ◆ノーリフティングリーダー養成研修	・ノーリフトケア コーディネーター養成講座アドバンス修了+主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティングマネジメント講習修了+修了後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティングリーダー養成研修修了+修了後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	4,500	
中級ノーリフトケア コーディネーター①		【知識】 ノーリフティングケアの目的と必要性を確立し、自己実践の方法や技術の修得などについて指導を行う。 【技術】 各ケアの促進手法 【資格等】 ●ノーリフトケア コーディネーター養成講座アドバンス ★ノーリフティングマネジメント講習 ◆ノーリフティングリーダー養成研修	・ノーリフトケア コーディネーター養成講座ベーシック修了+修了後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・介護技術研修全4講義修了+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティング基本技術研修修了+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティングケアマネジメント講習修了+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	4,000	
中級ノーリフトケア コーディネーター②			・ノーリフティングマネジメント講習修了。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティングリーダー養成研修修了。主となり施設内での普及活動を行う。	3,500	
初級ノーリフトケア コーディネーター①		【知識】 ノーリフティングケアの目的と必要性を確立し、自己実践の方法や技術の修得などについて指導を行う。 【技術】 各ケアの促進手法 【資格等】 ●ノーリフトケア コーディネーター養成講座ベーシック ★介護技術研修 ◆ノーリフティング基本技術研修 ◆ノーリフティングケアマネジメントプランニング研修	・ノーリフトケア コーディネーター養成講座ベーシック修了+修了後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・介護技術研修全4講義修了+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティング基本技術研修修了+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティングケアマネジメント講習修了+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	3,000	
初級ノーリフトケア コーディネーター②			・ノーリフトケア コーディネーター養成講座ベーシック修了。主となり施設内での普及活動を行う。 ・介護技術研修全4講義修了+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティング基本技術研修修了+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティングケアマネジメント講習修了+取得後リーダーとして2年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	2,500	
ノーリフトケア リーダー①	ノーリフティングの目的と必要性等の考え方やケア技術を指導し、スタッフへの普及と介助方法の浸透を行う。	【知識】 ノーリフティングの目的と必要性/普及を予防するためのリスクマネジメント 【技術】 普及を予防するための身体への使い方/お互いの負担にならない介助方法/福祉用具の活用方法 【資格等】 ★介護技術研修 ★要介護予防推進研修 ◆ノーリフティング入門研修	・介護技術研修受講。取得後リーダーとして1年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・要介護予防推進研修受講。取得後リーダーとして1年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティング入門研修受講。取得後リーダーとして1年以上従事。主となり施設内での普及活動を行う。	2,000	
ノーリフトケア リーダー②		【知識】 ノーリフティングの目的と必要性/普及を予防するためのリスクマネジメント 【技術】 普及を予防するための身体への使い方/お互いの負担にならない介助方法/福祉用具の活用方法 【資格等】 ★介護技術研修 ★要介護予防推進研修 ◆ノーリフティング入門研修	・施設内での研修受講+下部のいずれかを受講。 ・介護技術研修受講。4講義の内、2講義以上を受講。主となり施設内での普及活動を行う。 ・要介護予防推進研修受講。主となり施設内での普及活動を行う。 ・ノーリフティング入門研修受講。主となり施設内での普及活動を行う。	1,000	
ノーリフティング入門	ノーリフティングの目的と必要性等の考え方やケア技術を理解、習得。施設内研修にて得た技術の実践や介助方法の浸透を行う。	【知識】 ノーリフティングケアの基礎知識/ノーリフティングケアチェックの要点/ノーリフティングケアアセスメントの要点と手法 【技術】 各ケアの基礎知識	・施設内研修の受講。研修にて得た知識、技術を元にケア実践に取り込む。	500	

※研修実施機関

●日本ノーリフト協会（ノーリフトケアコーディネーター養成講座ベーシック、アドバンス）

★介護職員 福祉のまちづくり研究所

◆チャールズハートフルケアネットワーク（ノーリフティング基本技術研修、指導者養成研修）

令和7年度 集団分析結果 一覧

全国平均	人数 (男性/女性)	量的負担	コントロール	上司の 支援	同僚の 支援	量 - コントロール	職場の支援	総合健康 リスク
	-	8.7	7.9	7.5	8.1	100	100	100

※量的負担: 点数が高いほど、負担大

※コントロール、上司・同僚の支援: 点数が高いほど、良好

介護	人数 (男性/女性)	尺度 平均点数	健康リスク					
		量的負担	コントロール	上司の 支援	同僚の 支援	量 - コントロール	職場の支援	総合健康 リスク
令和7年度	44(17/27)	8.0	7.7	8.8	8.6	96	83	79
令和6年度	39(17/22)	8.1	8.3	8.3	8.1	92	92	84
令和5年度	39(17/22)	7.6	7.9	8.5	8.1	91	90	81
令和4年度	37(18/19)	8.1	8.0	8.4	8.1	94	91	85
令和3年度	33(20/13)	8.2	7.7	8.4	8.5	97	88	85

※総合健康リスク

120を超えると...**要注意**→該当部署 **なし**150を超えると...**健康問題が顕在化、早急な改善を要する**→該当部署 **なし**

課題③「車椅子の衛生管理が不十分」

◆ 車椅子洗浄機の導入

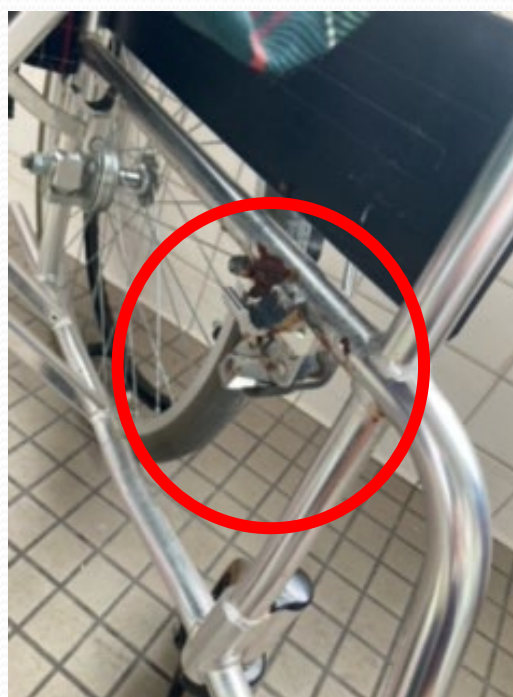
【目的】衛生管理と業務効率化

【期待できる効果】

- 清潔な車椅子の提供 ➡ 利用者満足度向上
- 職員の負担軽減
- 洗浄時間短縮でできた時間を有効活用



洗淨前



洗淨後



車椅子洗淨機導入後のコスト比較

	職員洗淨	機械洗淨
1台にかかる洗淨時間	30分	10分
4時間で洗淨できる台数	8台	24台
85台洗淨にかかる日数	11日	4日
1台洗淨にかかるコスト	人件費 500円 + 水道代	約230円 (水道光熱費・洗剤・乾燥込み)
85台洗淨にかかるコスト	425,00円 + 水道代	約19,550円

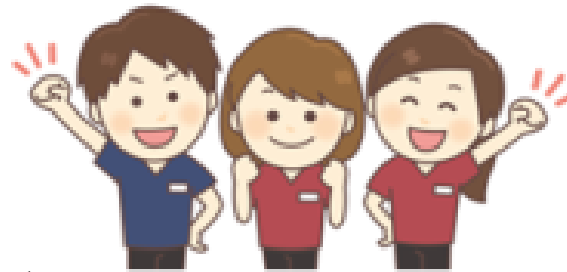
- 購入価格 300万、介護助手の時給 1,000円の場合
 $3,000,000 \div 22,950$ (コスト差額) = 130クールで償却 (月2回の洗淨ペースなら5.5年)
- 関連法人の車椅子洗淨を毎日すれば償却期間は早くなる
- 介護助手が他の業務に就くことができ、実質倍のコスト削減になる
- 機械操作は、洗淨・停止ボタンだけのシンプルな操作で、障害者雇用に繋がられる

おわりに

- 介護テクノロジーを導入した結果、業務の効率化が実現した
- 効率化により創出した時間で
 - ＊ 利用者との対話やケアの充実
 - ＊ 職員のスキルアップ研修参加



- ➡ 利用者・家族の満足度向上
- ➡ 職員にとって働きやすい環境づくり



利用者・職員から選ばれる施設



反省点

- ◆ 機器を導入すること自体はすぐに決まったが、どのメーカーの機器にするか選定に時間がかかった
- ◆ 各機器のエキスパート育成への着手が遅かった
- ◆ 見守りカメラシステムの誤検知への対応にあたり、メーカーとのやり取りに手間や時間を要した
- ◆ 旧施設ではトランシーバー型のインカムを使用していたが、現在モバイル間通話となっており、インカムリリースが遅れている
- ◆ ノーリフトケア推進の体制作りに予想以上の時間を要した（現在も進行中）
- ◆ スタンディングリフトは対象者が限られた
- ◆ 新築移転の準備と同時進行であったため、一部の職員に負担をかけてしまった

良かった点

- ◆ 補助金（地域医療介護総合確保基金）を活用し、徐々に導入できた
- 【R2年度】・ワイズマンすぐろくタブレット（ICT）
・眠りスキャン10台（介護ロボット）
- 【R3年度】・眠りスキャン27台追加（介護ロボット）
- 【R4年度】・特浴（介護ロボット）
- 【R5年度】・床走行リフト（介護ロボット）
・スタンディングリフト3台（介護ロボット）
- 【R6年度】・見守りカメラ（開設準備金）
- ◆ 理事長方針が明確で導入がスムーズだった
- ◆ 現場意見が反映された
- ◆ 他法人が施設見学を快く受け入れてくれた
- ◆ 介護ロボットプラットフォームに相談できた

今後の課題

- システムやLIFEから得られるデータを活用する
- デジタル中核人材養成
- 業務効率化に向けた介護テクノロジー導入継続
 - ・排泄ケアに関するもの
 - ・レクリエーション、コミュニケーション関連
 - ・シフト管理、勤怠管理
- モデル事業所として他法人への情報発信、見学受入
- 地域交流、介護の魅力発信



見学申込
お待ちしております!!

ご清聴ありがとうございました

入居者に寄り添う未来の私たち ～生産性向上とウェルビーイングの好循環～

社会福祉法人 寿光会 盲養護老人ホーム 光明荘

主任生活相談員 角田紀子



盲養護老人ホーム
光明荘

施設紹介

長崎県唯一

盲養護老人ホーム

光明荘

はじめに

生産性の向上・・・生産性の向上・・・
目的は生産性の向上???

生産性を上げたその先に何があるのか？

【ICT導入】と【言葉づかいの改善】による
【私たちが目指す未来に向けた取り組み】
について発表いたします。

盲養護老人ホーム

光明荘

ICT導入 言葉づかいの改善 背景

入居者の高齢化

100歳以上が3名
90歳以上が17名

要介助者の増加

ICT導入 言葉づかいの改善 背景

入居者の高齢化

100歳以上が3名
90歳以上が17名

要介助者の増加

①人的負担の増大
介護・看護の身体・精神的負担増

ICT導入 言葉づかいの改善 背景

入居者の高齢化

100歳以上が3名
90歳以上が17名

要介助者の増加

①人的負担の増大
介護・看護の身体・精神的負担増

②施設環境・設備の課題
広い施設、コール対応機器不足

ICT導入 言葉づかいの改善 背景

入居者の高齢化

100歳以上が3名
90歳以上が17名

要介助者の増加

①人的負担の増大
介護・看護の身体・精神的負担増

②施設環境・設備の課題
広い施設、コール対応機器不足

③記録業務の非効率化
手書き記録、重複転記

ICT導入 言葉づかいの改善 背景

入居者の高齢化

100歳以上が3名
90歳以上が17名

要介助者の増加

ICT導入 言葉づかいの改善 背景

入居者の高齢化

100歳以上が3名
90歳以上が17名

要介助者の増加

④職員の孤立感
アナログ業務に業界から取り残されて
いる感覚

ICT導入 言葉づかいの改善 背景

入居者の高齢化

100歳以上が3名
90歳以上が17名

要介助者の増加

④職員の孤立感
アナログ業務に業界から取り残されている感覚

⑤言葉づかいの課題
言葉づかいの問題、口調が荒くなる

ICT導入 言葉づかいの改善 背景

入居者の高齢化

100歳以上が3名
90歳以上が17名

要介助者の増加

④職員の孤立感
アナログ業務に業界から取り残されている感覚

⑤言葉づかいの課題
言葉づかいの問題、口調が荒くなる

⑥視覚障害者への配慮不足
大声での呼びかけ、驚かせてしまう言動

ICTを活用した生産性向上と言葉づかいによる生産性の向上

盲養護老人ホーム 光明荘事業計画

テーマ	光明荘行動指針『心に暖かい光を届けます』
方針	1.言葉を大切にします。
	2.研修を充実します。
	3.DXを更に推進します。

言葉づかいによる生産性の向上		
盲養護老人ホーム 光明荘事業計画		
言葉づかい	計画	行動
	言葉づかいの基準作成	支援員・看護主任を中心に作成
	自己評価と目標設定	基準を基に全職員自己評価を実施、個人目標を設定し取り組む
	相互評価の実施	基準による自己評価と個人目標相互評価を実施しギャップを知る
	計画の評価と修正	職員、入居者の声（効果）を検証し、今後の活用方法を検討

ICTを活用した生産性向上		
盲養護老人ホーム 光明荘事業計画		
DX推進	計画	行動
	各チームでの主体的な取り組み	記録、ナースコール、インカムの3チームリーダーを中心とした主体的な取り組み
	データ収集（蓄積）	定点、新しい取り組み時の職員へのアンケート実施と集計
	効果検証	取り組みの内容、データを分析し生産性向上の効果検証を実施
	ながさき介護現場サポートセンターとの連携	助言をいただきながら、一緒にDXを推進していく

言葉づかいによる生産性の向上

盲養護老人ホーム 光明荘事業計画

言葉づかい	計画	行動
	言葉づかいの基準作成	支援員・看護主任を中心に作成
	自己評価と目標設定	基準を基に全職員自己評価を実施、個人目標を設定し取り組む
	相互評価の実施	基準による自己評価と個人目標相互評価を実施しギャップを知る
	計画の評価と修正	職員、入居者の声（効果）を検証し、今後の活用方法を検討

光明荘

ICTを活用した生産性向上

盲養護老人ホーム 光明荘事業計画

DX推進

計画	行動
各チームでの主体的な取り組み	記録、ナースコール、インカムの3チームリーダーを中心とした主体的な取り組み
データ収集(蓄積)	定点、新しい取り組み時の職員へのアンケート実施と集計
効果検証	取り組みの内容、データを分析し生産性向上の効果検証を実施
ながさき介護現場サポートセンターとの連携	助言をいただきながら、一緒になってDXを推進していく

身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを指し、単なる健康状態の良さだけでなく、持続的な幸福感や生きがいを含む概念。

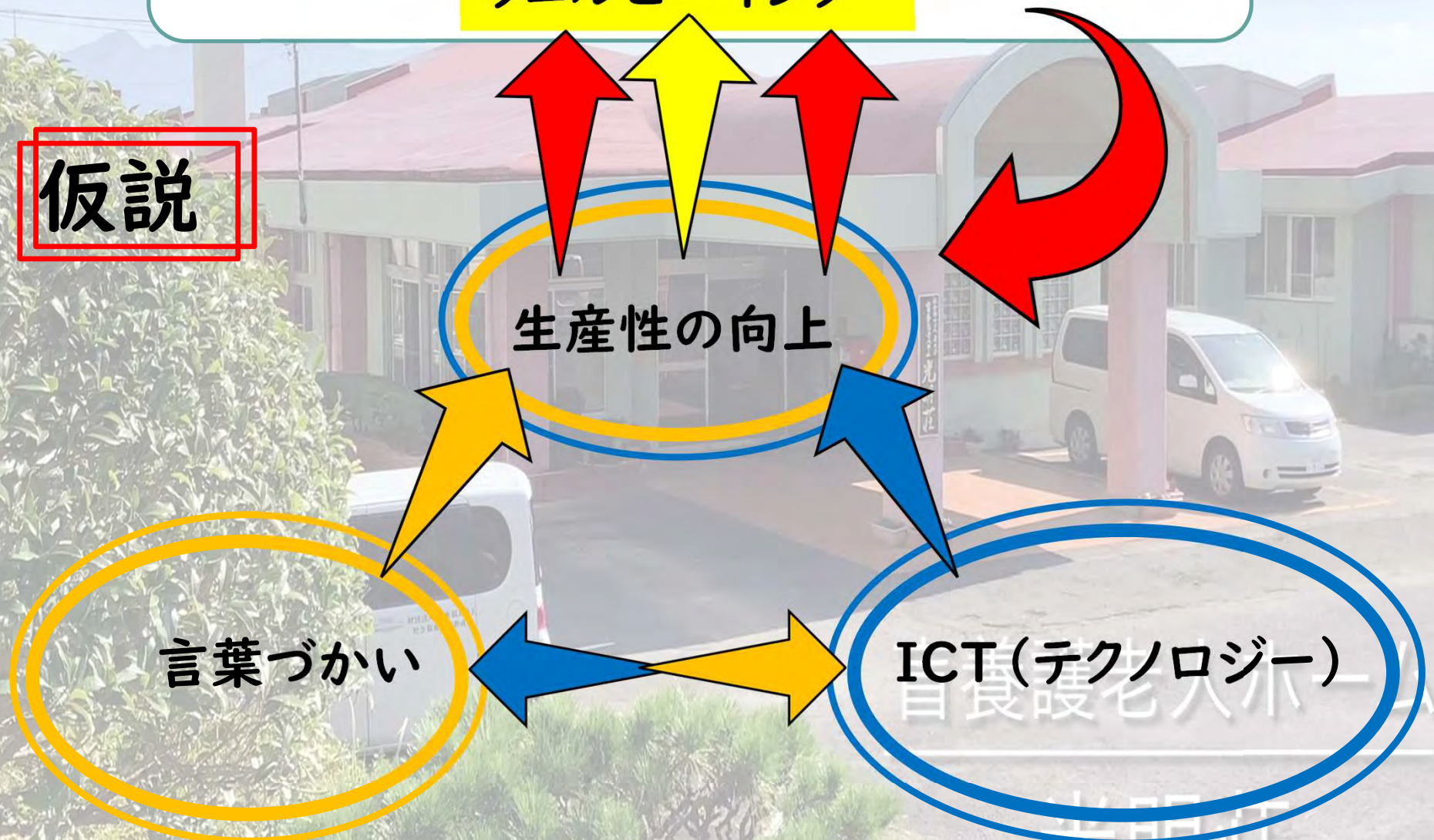
ウェルビーイング

仮説

生産性の向上

言葉づかい

ICT(テクノロジー)





ICTの導入



録音・録画機能付
ナースコール



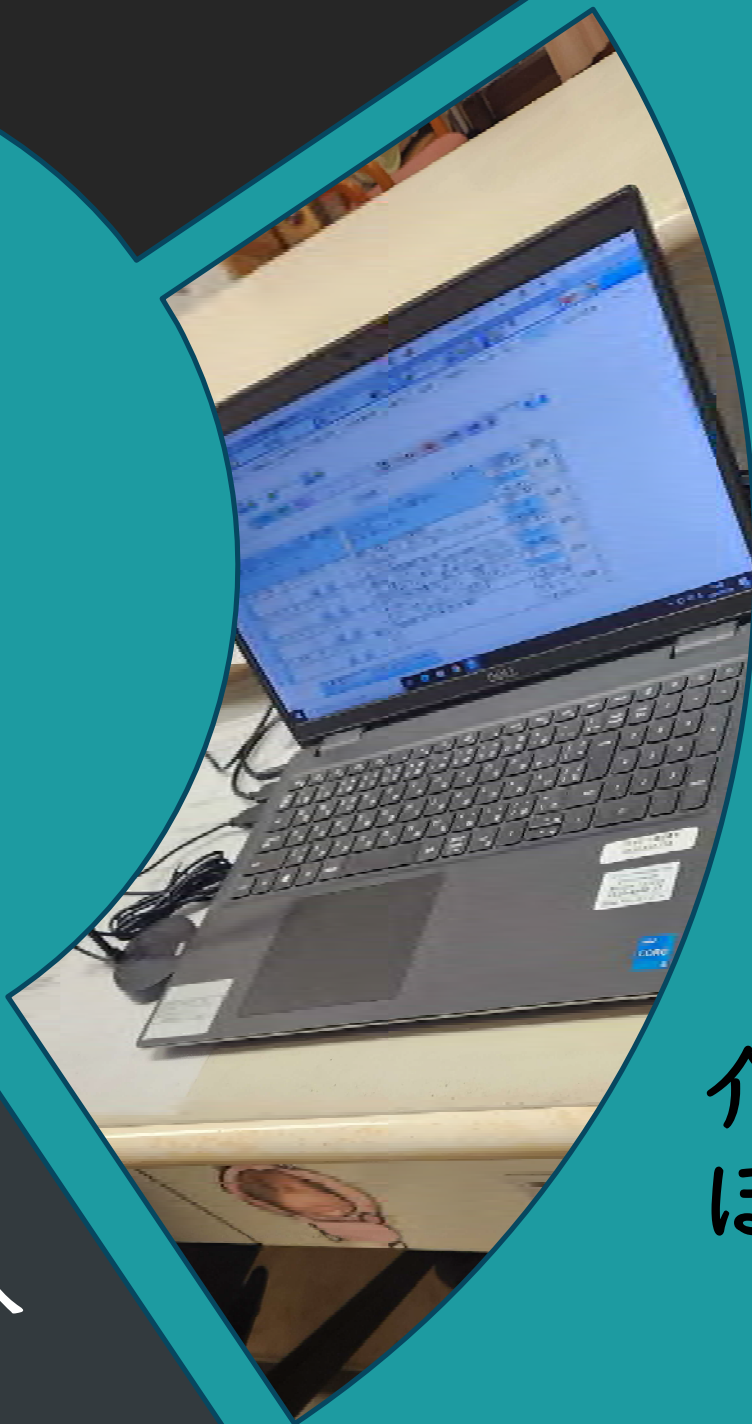
ICTの導入



骨伝導スマート
インカム



ICTの導入



介護ソフト
ほのぼのNEXT



ICTの導入



夜間巡回アプリ
タブレット



ICTの導入



Bluetooth
通信対応型

体温計
パルスオキシメーター
血圧計

シングル プラットフォーム



ICTの導入



Care Palette
↕ 連動
ほのぼNEXT



インカムを使ってナース
コールに対応
多職種と連携し
音声入力による
記録をしています。

ICTの導入

録音・録画機能付
ナースコール

録音・録画機能の
活用

by GCOMM



録音・録画機能付
ナースコール

録音・録画機能の
活用

by GCOMM



録音・録画機能付
ナースコール

録音・録画機能の
活用

by GCOMM



全盲入居者
ベッドからの
転落事故

ベッドの上を
歩きだし
床へ転落



録音・録画機能の活用

夜間巡回アプリ タブレット

ココヘルパVP

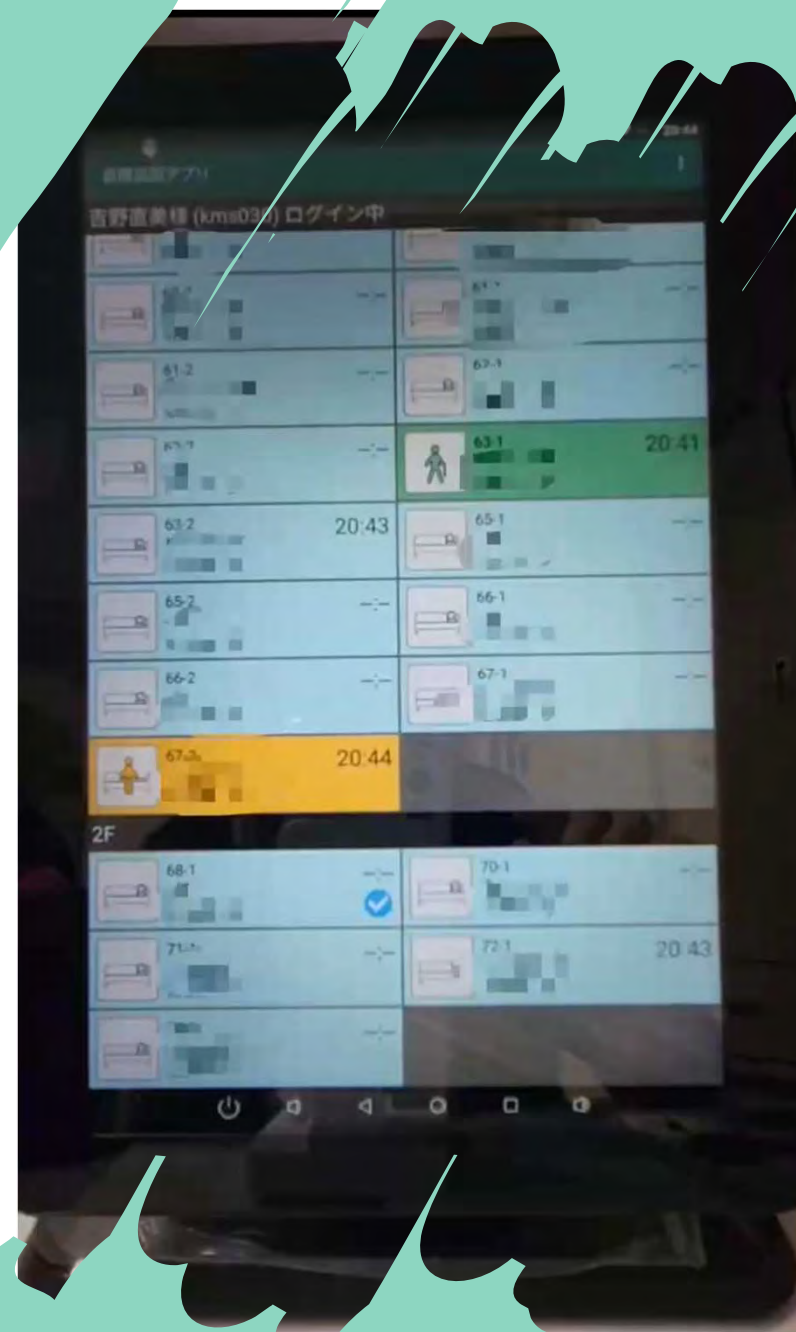
by GCOMM



★夜勤者のみ使用
(使用時間のルールあり)

★活動量の検知機能付

★見られたくない方
→モザイク機能



夜間巡回アプリの活用

M

S

P

I

E

ICT導入の流れ

動機付け

動機付け研修会：全職員参加

テクノロジーはなぜ必要か？

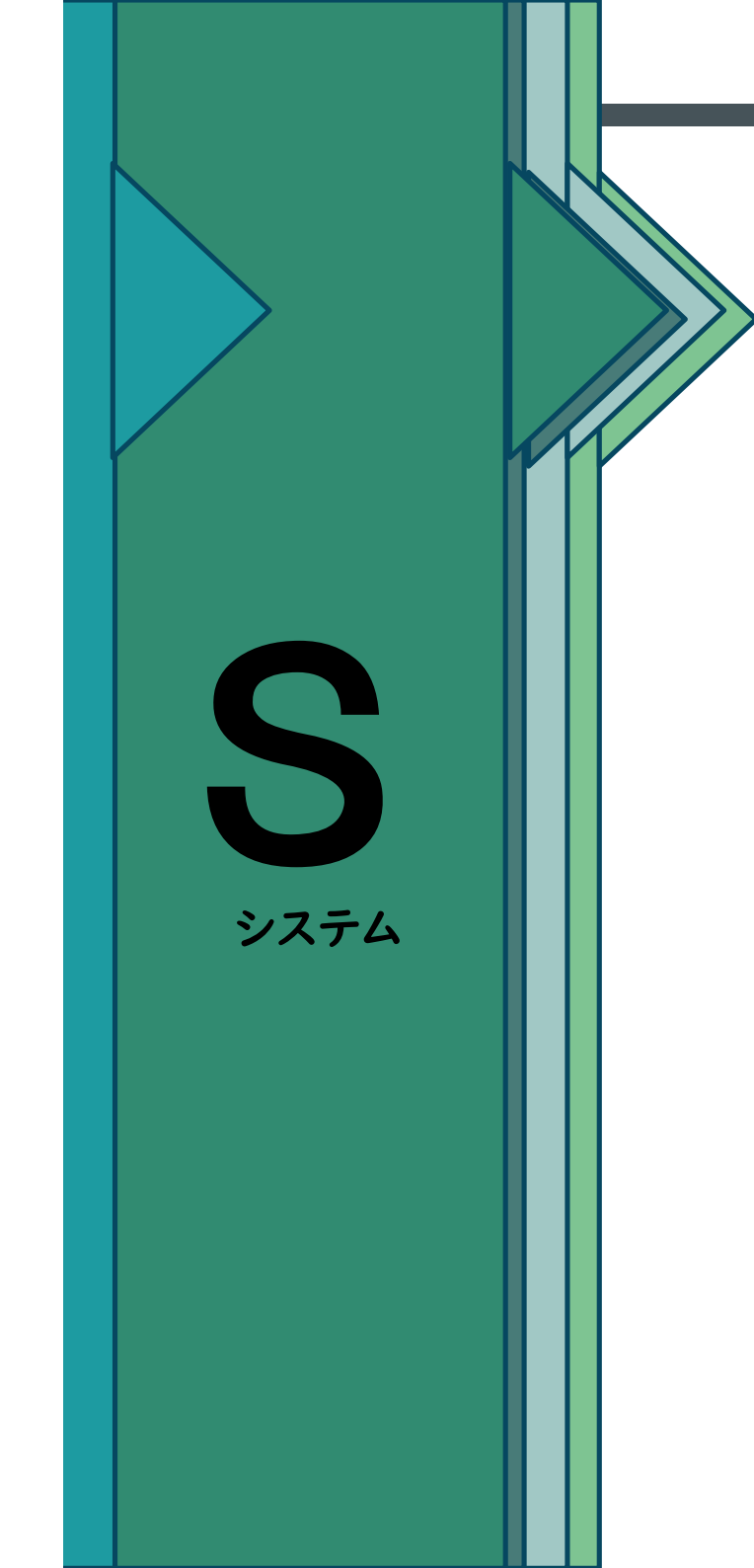
講師：ながさき介護現場サポートセンター

その他、関連研修

講師：施設職員（アクセシビリティ研修会）

M

モチベーション



S

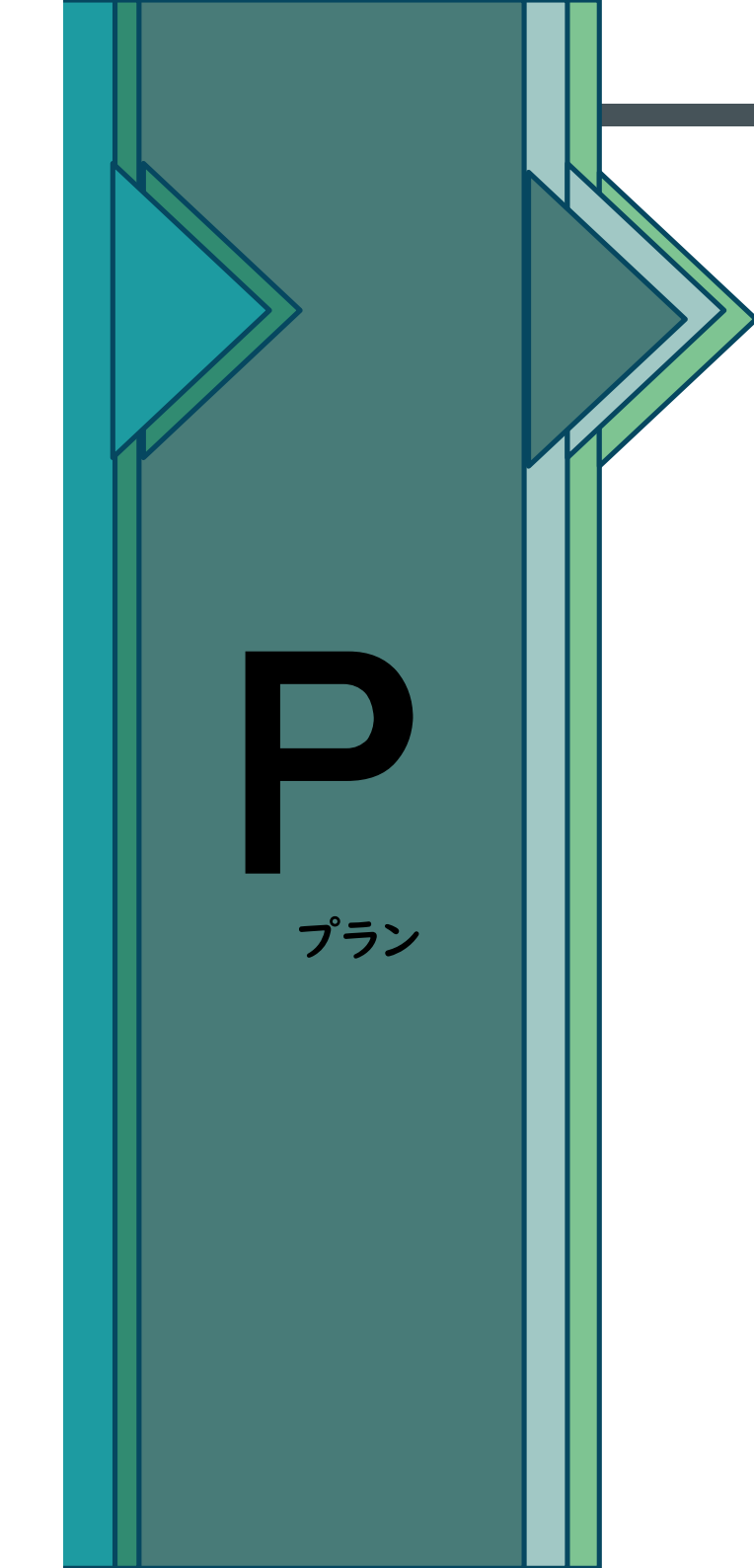
システム

体制づくり

介護DX推進事業
プロジェクトチーム発足

職員全員が構成メンバー

- ★記録ソフト
- ★ナースコール
- ★インカム・iPhone
- ★眠りSCAN



P

プラン

計画

各チームリーダー主体で
各機器の導入スケジュール

導入機器の研修会を随時実施

- ★記録ソフト
- ★ナースコール
- ★インカム・iPhone
- ★眠りSCAN

実施

R6.11月～ キックオフミーティング

R6.12月～ インカム始動

R7. 1月～ ナースコール 始動

Care Palette 導入

R7. 8月～ 夜間見守り巡回アプリ

R7. 9月～ 記録ソフト

R7.10月中旬～ライセンス増設

★音声入力の強化！

★日誌の廃止決定！

インプリメント

評価

E

エヴァリュエーション

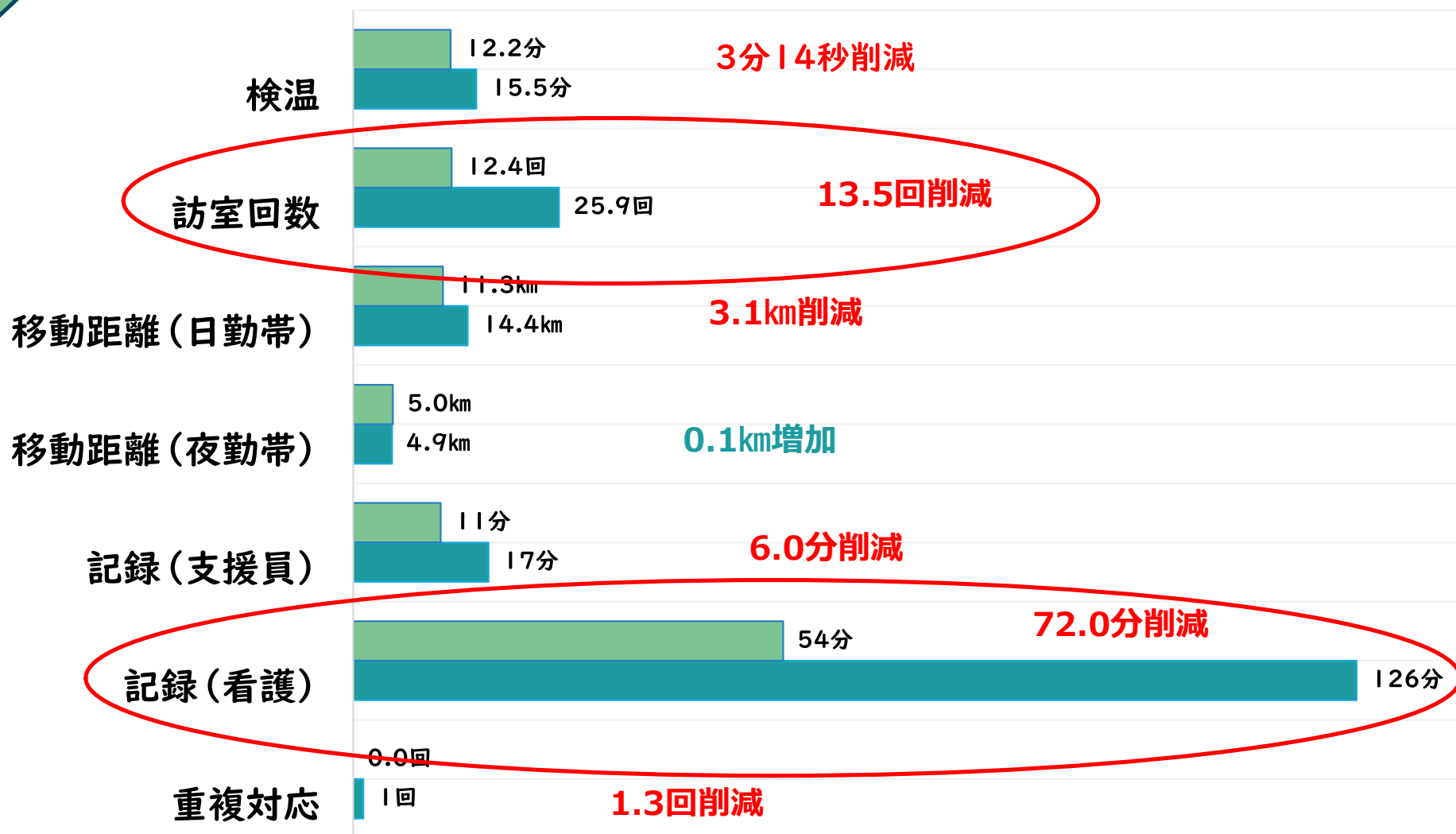
ナースコール・インカム
記録ソフト
導入効果測定

評価

ナースコール・インカム・記録ソフト導入

効果測定

■ 導入後（平均） ■ 導入前（平均）



パソコン操作が
苦手で、前向きに
なれない💧

便利だな～

必要なことなんだ！
頑張ろう！

日々の業務
が優先

リーダーと勤務
が合わないから
話し合えない

先に進まない！
リスクばかり💧💧

これまでにについて

言葉づかいの取り組み

自己評価・個人目標

光明荘 言葉使いについての自己評価及び個人目標

言葉使いのスローガン	
1	笑顔が見えるように言葉に表情をつけて話します
2	尊敬と感謝の気持ちを持って話します
3	慌てず、騒がず、穏やかに感情をコントロールして話します
4	聞き上手・褒め上手分かり易い言葉を使います
5	職員同士適切な礼儀と思いやりをもって話します

言葉づかいのスローガン

番号	職員に対するチェックリスト	点数
1	相手を見て笑顔で挨拶出来ている	
2	入居者の前で私語をしていない	
3	相手を「〇〇君」「〇〇ちゃん」と呼んでいない	
4	人を馬鹿にする内容や悪口を言っていない	
5	感情がコントロールできずに無言になっていない	
6	同僚を一方的に責めたり、強い口調で威圧していない	
7	年齢・役職に関わらず適切な礼儀をもって話している	
8	相手の立場にたって思いやりのある言葉で話せている	
9	役職を付けて呼んでいる	
10	相手の意見を尊重し否定的な言葉使いを避けている	
11	丁寧な言葉使い「です」「ます」調を基本としている	
12	不適切な言葉使いを聞いた時は注意または報告している	
合 計 点 数		

職員に対するチェックリスト

1. 相手を見て笑顔で挨拶できている
2. 入居者の前で私語をしていない

【点数の基準】		できている3点	普通2点	できていない1点
入居者に対するチェックリスト				
1	正しい敬語の使い分けが出来ている（尊敬語・謙譲語・			
2	馴れ馴れしいタメ口を使っていない			
3	赤ちゃん言葉・幼児言葉を使っていない			
4	粗言野郎な言葉を使っていない			
5	入居者の名前や専門用語を使っていない			
6	はっきり話している			
7	視覚障害者であっても目線の高さを合わせている			
8	挨拶は入居者より先にしている			
9	イライラせず余裕をもって話をしている			
10	「はい」「いいえ」を多用していない			
11	「すみません」「ごめんなさい」を多用していない			
12	「どうぞ」「お先にどうぞ」を多用していない			
合 計 点 数				
できている項目番号				
できていない項目番号				
【チェックリストを自己評価して感じたこと】				

これから半年間の目標

言葉づかいの取り組み

自己評価・個人目標

自己評価及び個人目標	
ローガン	
つけて話します	
ます	
コントロールして話します	
尾を使います	
もって話します	
チェックリスト	点数
呼んでいない	
いない	
なっていない	
で威圧していない	
もって話している	
言葉で話している	
を避けている	
を基本としている	
または報告している	
こと】	
司の目標	

【点数の基準】できている3点 普通2点 できていない1点		
項目	入居者に対するチェックリスト	点数
1	正しい敬語の使い分けが出来ている（尊敬語・謙譲語・丁寧語）	
2	馴れ馴れしいタメ口を使っていない	
3	赤ちゃん言葉・幼児言葉を使っていない	
4	あだ名や呼び捨てをしていない	
5	上から目線の言葉使いになっていない	
6	高齢者が理解できない若者言葉や専門用語を使っていない	
7	元気よく大きな声ではっきり話している	
8	視覚障害者であっても目線の高さを合わせている	
9	挨拶は入居者より先にしている	
10	イライラせず余裕をもって話している	
11	後ろから声掛けをして驚かせていない	
12	最初に自分の名前を名乗ってから話ができている	
13	命令口調で威圧的な言葉使いになっていない	
14	「待ってください」「座ってください」を	
15	相手が言った事を直ぐに否定せず気持ちを	
16	「です」「ます」等語尾を省略せずに話せる	
17	入居者の家族とため口になって話していない	
合 計 点 数		
できている項目番号		
できていない項目番号		
【チェックリストを自己評価して感じたこと】		

点数の基準

できている 3点
普通 2点
できていない 1点

入居者に対するチェックリスト

8.視覚障害者であっても目線の高さを合わせている

11.後ろから声掛けをして驚かせていない

自己評価して感じたこと

三井物産の取引組合

自己評估・個人目標

できていない1点	
スト	点数
前・謙譲語・丁寧語)	
を使っていない	
ている	
ている	
う	
用していない	
取り取って読んでいる	
いる	
う	

目標を達成するために具体的に取ることを

1	
2	
3	
4	
5	

【記入要項】

1. 言葉使いのスローガンを確認してください。
2. チェック項目ごとに点数をつけてください。
3. 点数は、できている3点、普通2点、できていない1点とします。
4. 点数をつけたら合計点を記入してください。
5. できている項目欄、できていない項目欄に番号を記入してください。
6. 上記1～5を踏まえて自己評価して感じたことを記入してください。
7. これから半年間の個人目標を簡潔に設定してください。
8. 具体的に取ることを分かりやすく、簡潔に記入してください。
9. 取り組み内容は最低3つ～多くても5つまで設定してください。
10. チェックリスト、目標、取ることは半年後に再評価します。
11. チェックリストは、半年後に他者評価（相互評価）を実施します。
12. 職種・氏名を記入し5月 日までに助田主任に提出して下さい。
13. 記入内容は主任以上の閲覧とし秘密厳守とします。

職 種

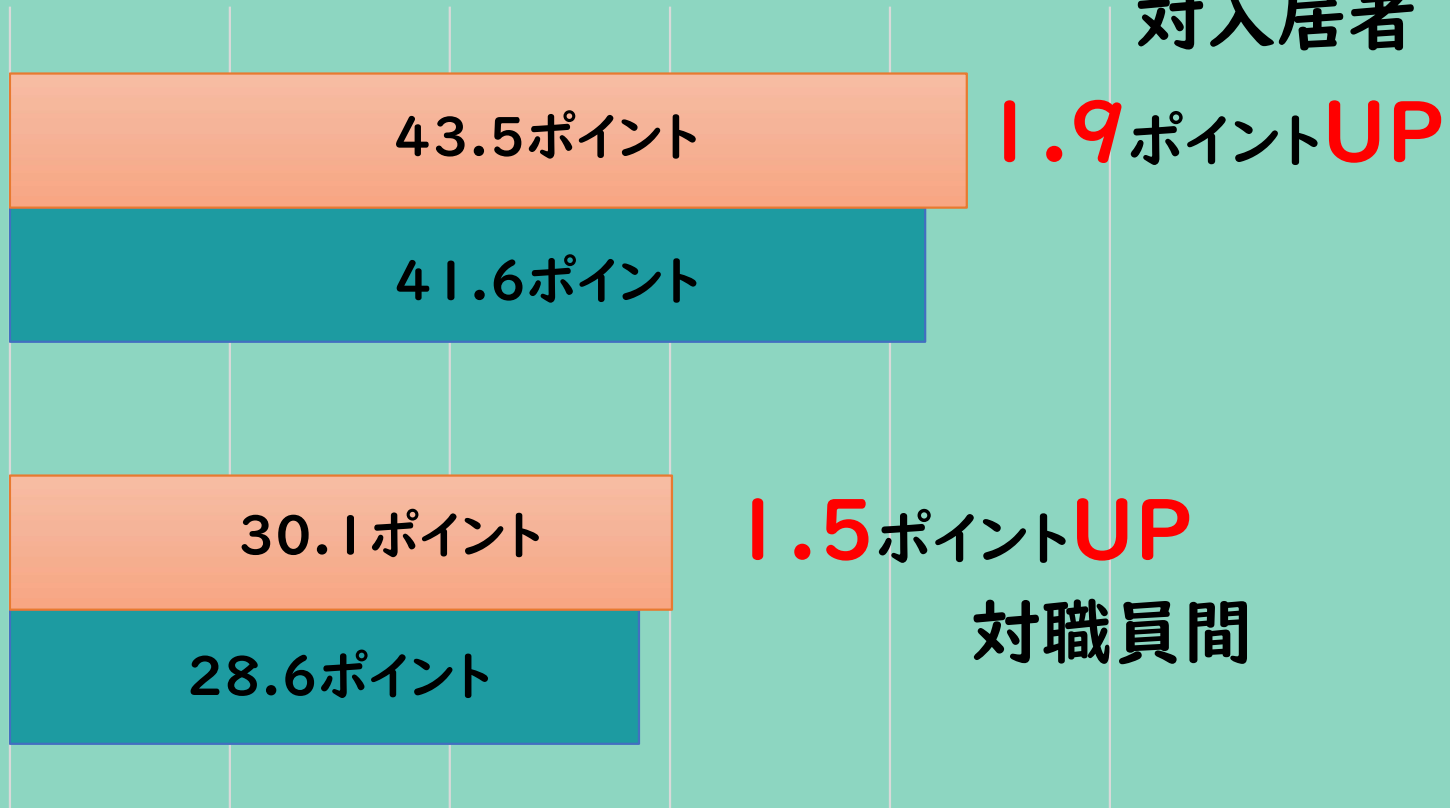
氏 名

これから半年間の目標

目標を達成するために具体的に 取り組むこと

記入要項

三 世 つかしののり組 女

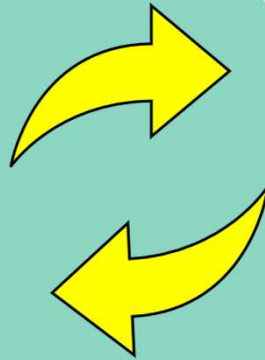


効果測定



相互評価へ

自己評価・個人目標



生産性が向上する

入居者・職員とのトラブル減少

対入居者・職員間の
言葉づかいが良くなる

言葉づかいの取り組み

ださい。
！ださい。

さい。
さい。
ます。
抱します。
て下さい。



入居者アンケート

利用者向け調査票

WHO-5 スケール

対象利用者におけるQOLの変化

令和7年5月実施

※点数： いつも=5点 ほとんどいつも=4点 半分以上=3点 半分以上=2点 たまに=1点 全く=0点

最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以上の期間を	ほんのたまに	まったくない	合計(人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
1 明るく、楽しい気分で過ごした	9	7	9	8	1	0	34	3.44	73.5%
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	9	6	13	6	0	0	34	3.53	82.4%
3 意欲的で、活動的に過ごした	5	5	9	10	3	2	34	2.79	55.9%
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	12	6	6	6	4	0	34	3.47	70.6%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	9	4	9	6	3	3	34	3.03	64.7%

対象利用者におけるQOLの変化

令和7年10月実施

※点数： いつも=5点 ほとんどいつも=4点 半分以上=3点 半分以上=2点 たまに=1点 全く=0点

最近2週間、利用者の状態に最も近いものに○をつけてください	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以上の期間を	ほんのたまに	まったくない	合計(人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
1 明るく、楽しい気分で過ごした	10	4	16	1	3	0	34	3.50	88.2%
2 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした	10	11	11	2	0	0	34	3.85	94.1%
3 意欲的で、活動的に過ごした	7	7	10	7	2	1	34	3.21	70.6%
4 ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた	15	6	5	6	2	0	34	3.76	76.5%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	3	4	14	6	7	0	34	2.71	61.8%
5 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった	6	6	15	3	2	2	34	3.15	79.4%

WHO-5スケールは、国際的に認知されたウェルビーイング評価指標であり、介護現場における支援の質や生活の実感を定量的に捉えるツールとして活用されています。また、令和6年度介護報酬改定において「生産性向上推進体制加算」の評価指標の一つとして位置づけられています。

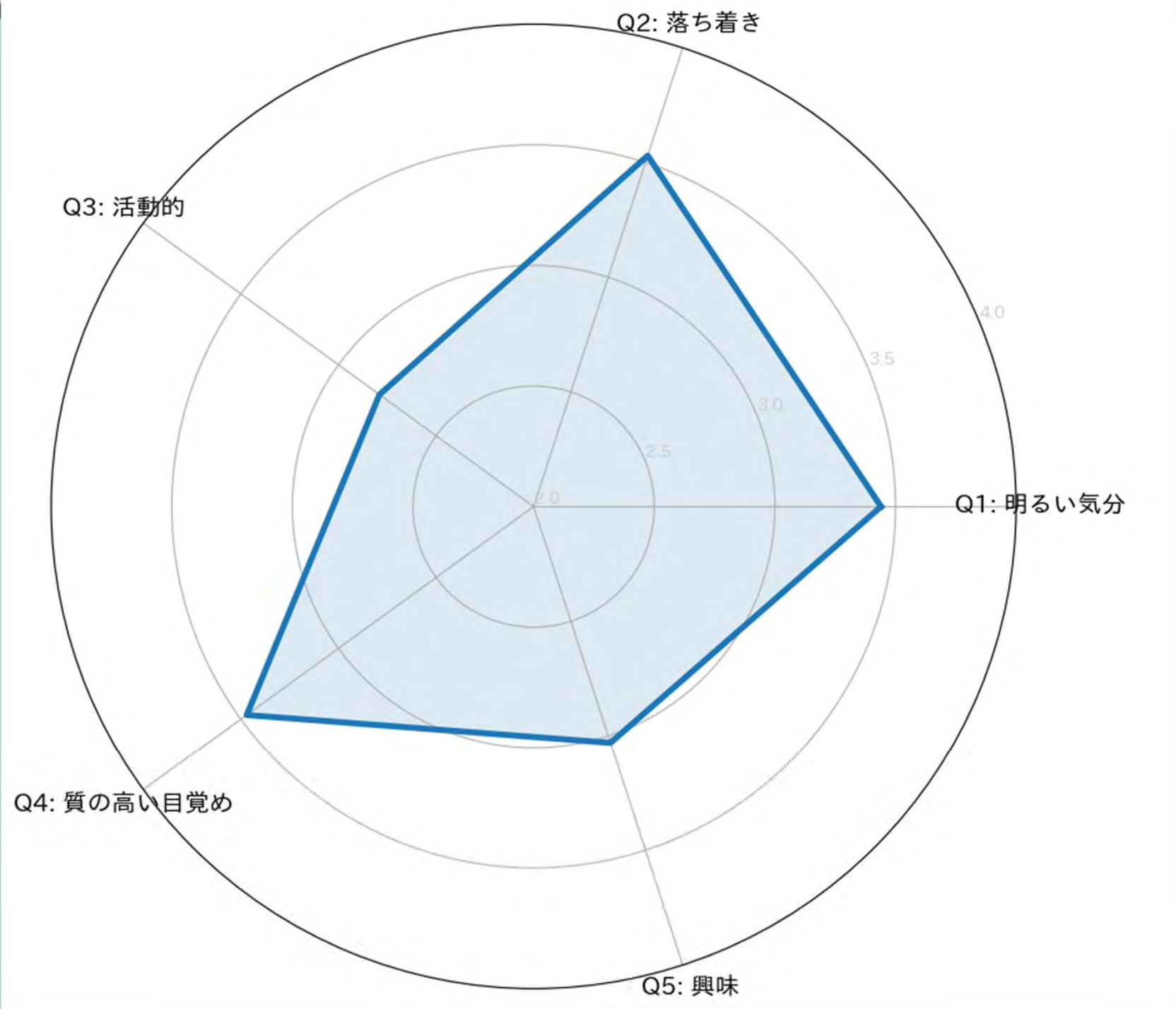
も=4点 半分以上=3点 半分以上=2点 たまに=1点 全く=0点

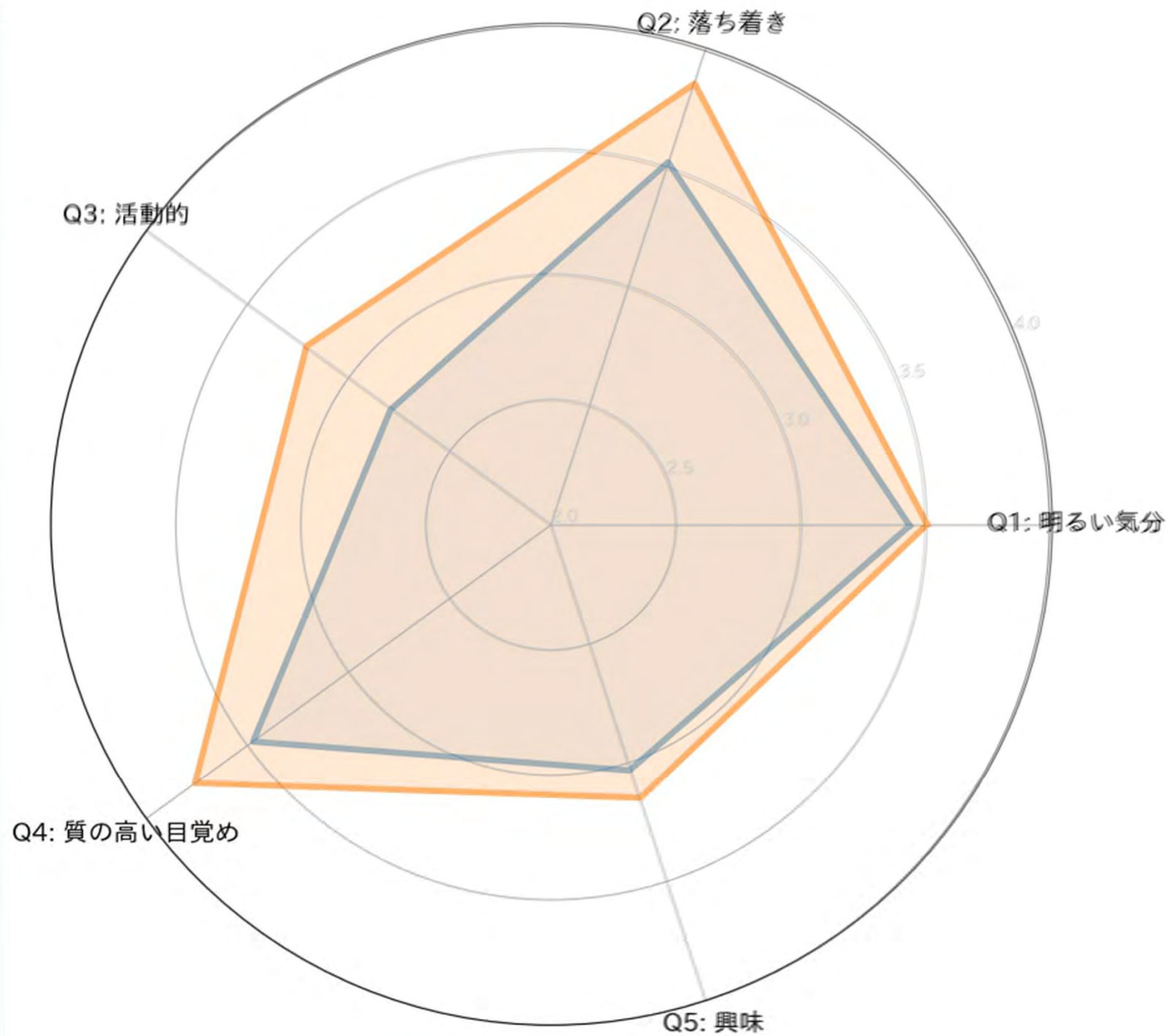
てください	いつも	ほとんど いつも	半分以上 の期間を	半分以上 の期間を	ほんの たまに	まった くない	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
	9	7	9	8	1	0	34	3.44	73.5%
た	9	6	13	6	0	0	34	3.53	82.4%
	5	5	9	10	3	2	34	2.79	55.9%
	12	6	6	6	4	0	34	3.47	70.6%
さんあった	9	4	9	6	3	3	34	3.03	64.7%

令和7年10月実施

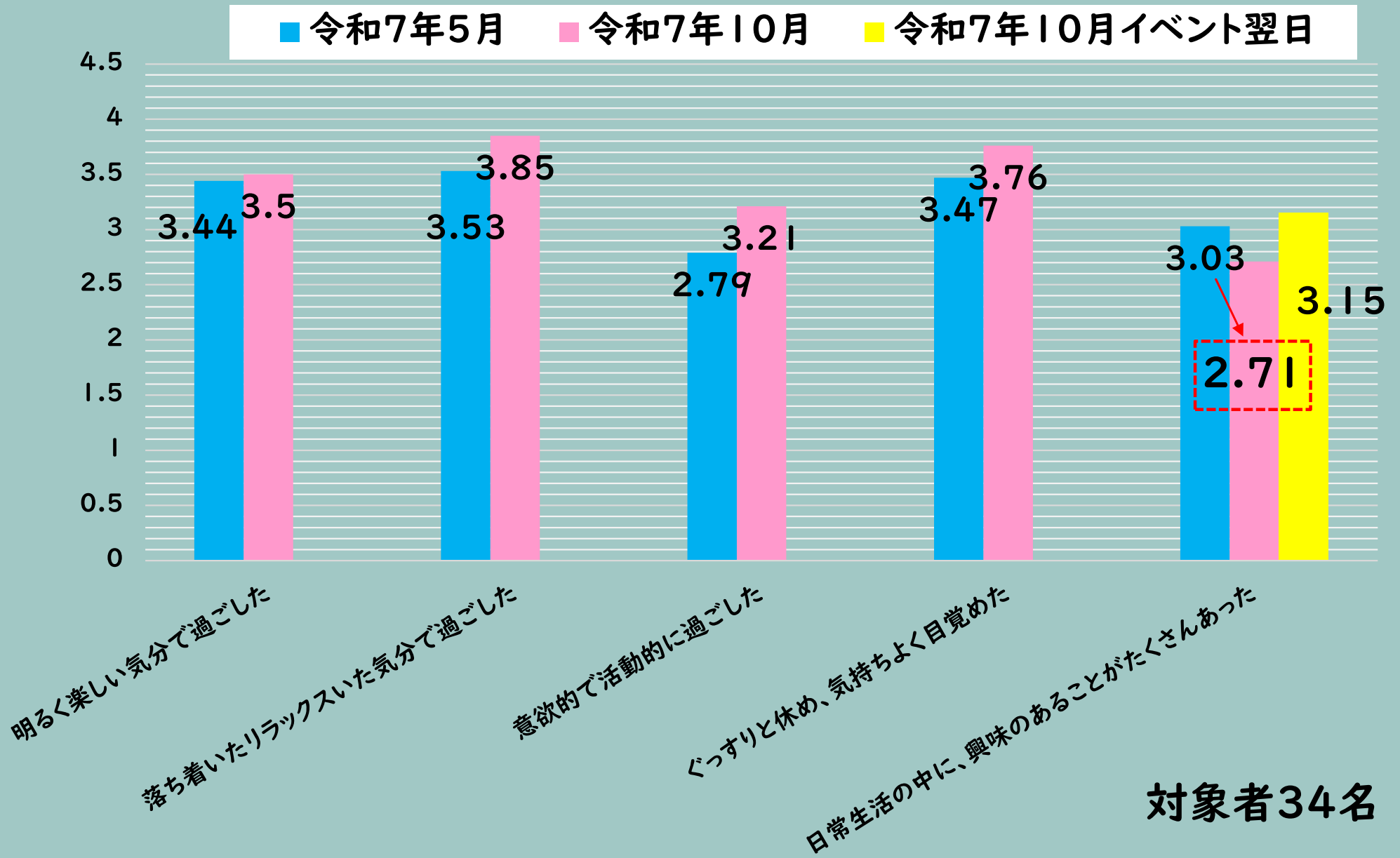
も=4点 半分以上=3点 半分以上=2点 たまに=1点 全く=0点

てください	いつも	ほとんど いつも	半分以上 の期間を	半分以上 の期間を	ほんの たまに	まった くない	合計 (人)	平均点	2段階評価 ポジティブ(%)
	10	4	16	1	3	0	34	3.50	88.2%
た	10	11	11	2	0	0	34	3.85	94.1%
	7	7	10	7	2	1	34	3.21	70.6%
	15	6	5	6	2	0	34	3.76	76.5%
さんあった	3	4	14	6	7	0	34	2.71	61.8%
さんあった	6	6	15	3	2	2	34	3.15	79.4%





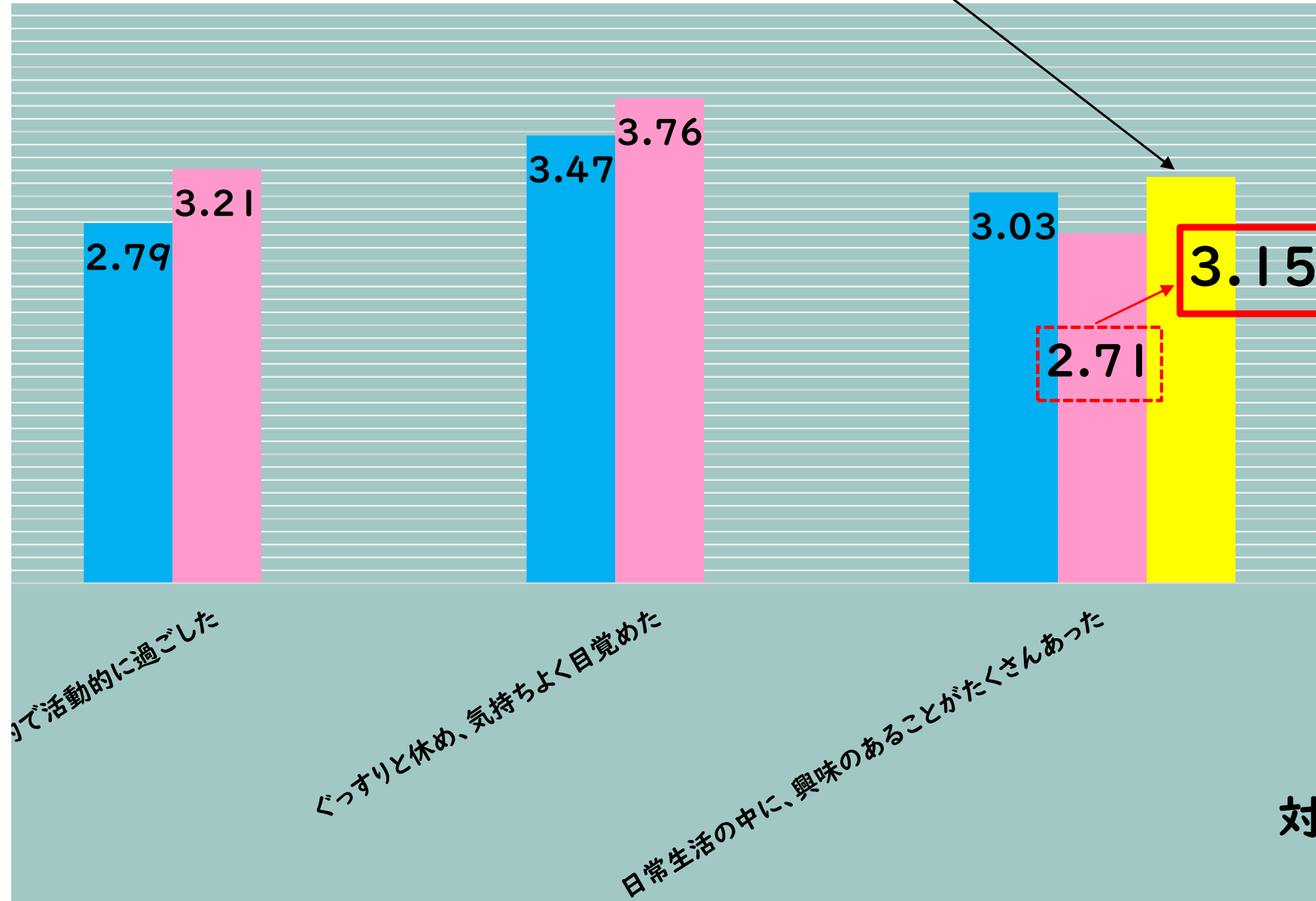
対象入居者におけるQOLの変化（入居者向け調査）



対象入居者におけるQOLの変化（入居者向け調査）

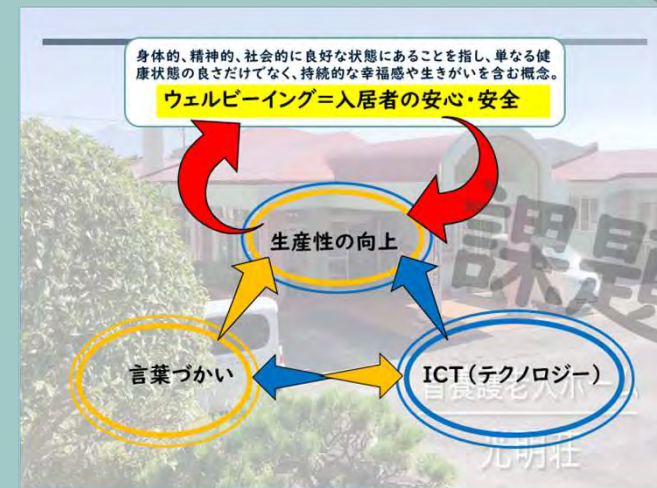
■ 令和7年10月

■ 令和7年10月イベント翌日



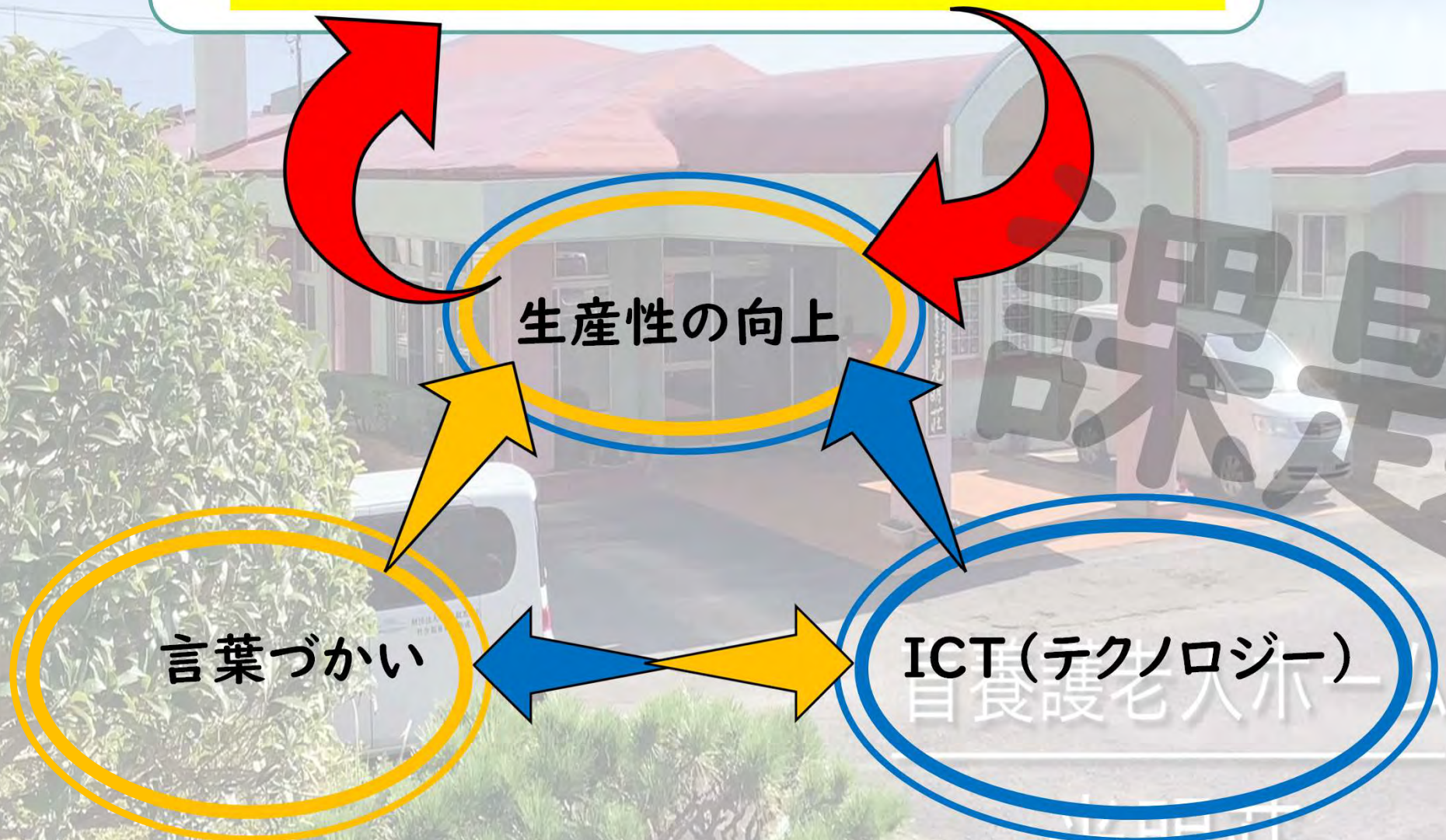
対象者34名

- ICT導入により生産性の向上と職員の心のゆとり⇒入居者の安心・安全の確保
 - 言葉づかいの取り組みによる職員の意識の変化があった⇒入居者の安心
 - 入居者におけるQOLの変化調査でポジティブな感情に変化が生まれた⇒安心
-
- 言葉も機器も道具に過ぎない⇒使いこなすかは職員しだい
 - 言葉づかい・ICT機器を使いこなす&整備継続
 - 使う職員の意識のずれ⇒要改革⇒「職員研修委員会(事業計画)」の推進
 - アンケートの実施による効果測定継続
 - 生産性向上により得た時間の効果測定&時間の有効利用方法を検討
 - 日誌の廃止
 - 音声入力による記録
- 更なる
生産性の向上

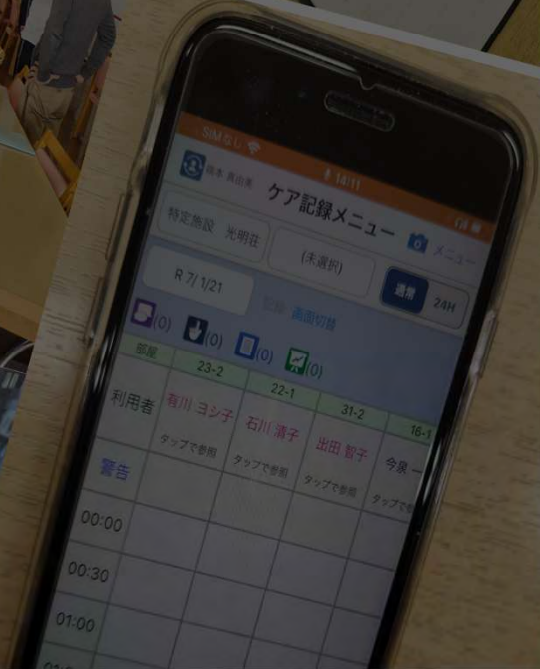


身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを指し、単なる健康状態の良さだけでなく、持続的な幸福感や生きがいを含む概念。

ウェルビーイング＝入居者の安心・安全



ご清聴ありがとうございました。



ご清聴ありがとうございました。

